【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和6年11月26日(2024.11.26)

【国際公開番号】WO2023/176398
【出願番号】特願2024-507673(P2024-507673)
【国際特許分類】
G01N 35/00(2006.01)
G01N 35/02(2006.01)
【FI】
G01N 35/00 F
G01N 35/02 D

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月10日(2024.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
検体中の対象物質を検出する検出処理を実行する検出部と、
前記検出処理の前に行われ、前記検出処理に供するために前記検体に施される処理であって、反応セル内において粒子と液体とを混合させる混合処理を実行する混合部と、
前記反応セル内において前記粒子と前記液体が混合された混合液を撮影する第１カメラと、
前記第１カメラによって撮影された前記混合液の画像に基づいて、前記粒子と前記液体との混合状態を判定するプロセッサとを備え、
前記プロセッサは、前記混合状態が良好であると判定した場合に、前記検出部による前記対象物質の検出処理を実行する、検査装置。
【請求項２】
ユーザに前記混合状態が不良であることを報知する第１報知部を備え、
前記プロセッサは、前記混合状態が不良であると判定した場合に、前記第１報知部によって前記混合状態が不良であることを報知させ、検査を終了する、請求項１に記載の検査装置。
【請求項３】
前記プロセッサは、前記混合液中の前記粒子の分散に伴って前記混合液の画像に生じる濃淡に基づいて前記混合状態を判定する、請求項１又は２に記載の検査装置。
【請求項４】
前記プロセッサは、前記混合液の画像に生じる濃淡に加え、前記画像における前記混合液中の気泡の有無又は気泡の量に基づいて、前記混合状態を判定する、請求項３に記載の検査装置。
【請求項５】
前記プロセッサは、前記画像における前記混合液中の気泡の有無又は気泡の量に基づいて、前記混合状態を判定する、請求項１又は２に記載の検査装置。
【請求項６】
前記粒子が磁性粒子である、請求項１又は２に記載の検査装置。
【請求項７】
前記検体を吸引し、前記検体を前記反応セルに吐出するサンプリングノズルを有する検

体分注部と、
前記サンプリングノズルで前記検体を吸引した後、前記反応セルに吐出するまでの間に、前記検体を保持した状態の前記サンプリングノズルを撮影する第２カメラとを備え、
前記プロセッサは、前記第２カメラによって撮影された前記サンプリングノズルの画像に基づいて前記サンプリングノズル内の前記検体の状態を判定する、請求項１に記載の検査装置。
【請求項８】
プロセッサは、前記検体の状態が正常であると判定した場合に、前記サンプリングノズルにより前記検体を前記反応セルへ吐出させる、請求項７に記載の検査装置。
【請求項９】
ユーザに前記検体の状態が不良であることを報知する第２報知部を備え、
前記プロセッサは、前記検体の状態が不良であると判定した場合に、前記第２報知部によって前記検体の状態が不良であることを報知する、請求項７又は８に記載の検査装置。
【請求項１０】
前記検体分注部は、前記サンプリングノズルを、前記検体を吸引する吸引位置から、前記反応セルに前記検体を吐出する吐出位置まで移動させる移動機構を備え、
前記第２カメラは前記移動機構によって移動中の前記サンプリングノズルを撮影する、請求項７又は８に記載の検査装置。
【請求項１１】
前記第２カメラがラインスキャンカメラである、請求項７又は８に記載の検査装置。
【請求項１２】
前記検出部は、抗原抗体反応を利用して前記対象物質に付与された標識からの発光又は蛍光を検出することによって、前記対象物質を検出する、請求項１又は２に記載の検査装置。